

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	21-3																																							
PDCA	主要事業名	母子健康増進事業	部課名	子ども未来部 子育て相談課	担当	永田																																							
					内線	423																																							
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 1 - 1 単位施策： 子どもと子育て家庭 全体事業期間： 令和 4年度 ~ 4年度 全体事業費等： 6,694 千円 会計 一般会計 歳出科目： 04.01.01.06.02																																												
	事業概要等 事業概要： 母子保健法に基づき、母性並びに乳幼児等の健康の確保及び増進を図ります。妊娠事業概要： 期から切れ目ない支援を目指す利用者支援事業を行い、地域で安心して子育てが行えるよう相談支援の充実を図ります。 事業目的： すべての子どもが心身ともに健やかに生まれ育つことを目的とする。 事業内容： 妊娠期からの切れ目ない支援として、教室・訪問等の事業を実施。 問題点・課題等： 子どもや保護者の状況に合った支援や事業の実施。																																												
	予算額 6,694 千円 財源内訳 市費 5,282 千円 国費 403 千円 県費 1,009 千円 その他 0 千円																																												
	主要事業とする理由 妊娠期から切れ目ない支援を実施し、相談支援の充実を図ることにより、地域で安心して子育てが行えるため。																																												
	得られる成果 地域で安心して出産し、子育てをすることができる。																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">こんにちは赤ちゃん訪問把握済み率</td> <td>実績値</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">たんぼぼの日 親の意識変化率</td> <td>実績値</td> <td>88.8</td> <td>73.0</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	こんにちは赤ちゃん訪問把握済み率	実績値	100.0	100.0	—	%	目標値	100.0	100.0	100.0	%	たんぼぼの日 親の意識変化率	実績値	88.8	73.0	—	%	目標値	80.0	80.0	80.0	%	その他	実績値					目標値				
	目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位																																							
	こんにちは赤ちゃん訪問把握済み率	実績値	100.0	100.0	—	%																																							
		目標値	100.0	100.0	100.0	%																																							
	たんぼぼの日 親の意識変化率	実績値	88.8	73.0	—	%																																							
目標値		80.0	80.0	80.0	%																																								
その他	実績値																																												
	目標値																																												
実績値 5,343 千円																																													
得られた成果 親子健康手帳交付時に全ての妊婦と面談を行い、妊娠期から出産後まで繋がりのある個別支援を実施した。また、各教室では子どもの月齢に合わせた情報を提供し、安心して子育てできるよう必要な支援につなぐことができた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">乳児実態把握率</td> <td>実績値</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">たんぼぼの日親意識の改善率</td> <td>実績値</td> <td>83.3</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>80.0</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標		令和4年度	単位	乳児実態把握率	実績値	100.0	%	目標値	100.0	%	たんぼぼの日親意識の改善率	実績値	83.3	%	目標値	80.0	%																						
成果指標		令和4年度	単位																																										
乳児実態把握率	実績値	100.0	%																																										
	目標値	100.0	%																																										
たんぼぼの日親意識の改善率	実績値	83.3	%																																										
	目標値	80.0	%																																										
C 課題の整理	A 親子健康手帳の交付時や転入時に面談を行い、妊娠期から個々の状況に応じた支援を開始し、安心して出産・子育てができるよう支援した。機構改革に伴い、母子保健と児童福祉業務を一体的に行う「こども家庭センター」を設置した。その機能を効果的に実践するため、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」を家庭児童相談員が行うことに変更し、保健師と情報共有を図りながら支援が必要な家庭の把握等、乳児実態把握率100%を達成した。「たんぼぼの日」では公認心理師や児童発達支援センター保育士との連携を図り、子どもの発達理解や関わり方について、保護者へ丁寧な働きかけを行った結果、親意識の改善率の目標達成ができた。																																												
A 課題解決の方向性	拡充推進 新たに伴走型相談支援を実施するため、妊娠8か月頃アンケートの実施や産後2週間頃に助産師や保健師が電話相談を実施し、必要な情報提供や早期支援に繋がれるよう体制強化を図る。さらに、健康手帳アプリを導入し、月齢に合わせた健康診査、予防接種、各種教室等の情報をプッシュ型配信できる仕組みを整える。また、これまで実施している各種教室についても、内容を見直し、保護者目線に立った充実したものにブラッシュアップしていく。																																												
観点別評価		<table border="1"> <thead> <tr> <th>必要性</th> <th>有効性</th> <th colspan="2">効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①市の関与の妥当性 妥当</td> <td>④上位施策への貢献 大きい</td> <td>⑦コスト削減 余地</td> <td>ない</td> </tr> <tr> <td>②市民ニーズ 高い</td> <td>⑤成果向上の余地 ある</td> <td colspan="2">※対象・手段の変更</td> </tr> <tr> <td>③休廃止の影響 大きい</td> <td>⑥類似事業の有無 ない</td> <td>⑧受益者負担適正化余地</td> <td>ない</td> </tr> </tbody> </table>				必要性	有効性	効率性		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 余地	ない	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																								
必要性	有効性	効率性																																											
①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 余地	ない																																										
②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更																																											
③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																																										

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用